**ホンジュラス定期報告（経済統計　２０１２年1２月）**

**（出典：ホンジュラス中央銀行）**

１．インフレ率

　2012年12月期の年間インフレ率は5.4％（前年は5.6％）であった。2012年度の主なインフレ要因は、食料価格、水道料金、電力料金、及び交通・運輸料金の上昇によるものである。

2．経済成長

　2012年の経済成長は、不安定な世界経済による輸出の減速及び内需の低迷により、前年度の3.7％より0.4ポイント低い3.3％と減速した。

3．経済活動指標

　2012年度最も活況な経済活動を見せた分野は、通信8.4％、続いて農業8.1％、銀行・保険5.4％、運輸4.7％であった。通信分野については、前年度よりも減少したものの、携帯電話、インターネット等のサービス活動が前年に続き活況であった。農業分野については、コーヒー、バナナ、アフリカン・パーム椰子油及び養殖エビの輸出が拡大した。

4．貿易収支（サービスを含まない）

　2012年度の輸出総額は、79億3,110万米ドル（前年度比1.7％増）で、内43億1,090万米ドル（54.4％）が一般財（前年度50.1％）、34億9,230万米ドル（44.0％）がマキラドーラ（前年度48.5%）である。

今年度の一般材の輸出額は、前年度に比べ10.3％増加した。主な要因は、コーヒー、バナナ、アフリカン椰子油及び紙の輸出の増加である。なお、2012年度のコーヒー価格は前年に比べ21.2％減少したものの、コーヒーの輸出量が増加したことより、輸出額は14億3,190万米ドル、前年に比べ5.4％増加した。

今年度のマキラドーラの輸出額は、前年度に比べ7.6％減少した。主な要因は、米国の繊維製品の需要の減少による同国向け同製品の輸出の減少である。なお、繊維製品の輸出額は28億6,120万米ドル、前年に比べ10.6％減少した。一方で、ハーネス及び車輌用部品の輸出額は5億9,410万米ドル、前年に比べ117％増加した。

　2012年度の輸入総額は、111億7,920万米ドル（前年度比1.7％増）、内88億820万米ドル（78.8％）が一般財（前年度76.0％）、23億6,830万米ドル（21.2％）がマキラドーラ（前年度24.0％）である。

　今年度の一般材の輸入額は、前年度に比べ5.4％増加した。2012年度輸入された一般材の内訳は、消費財31.2％、原材料及び中間財29.3％、燃料26.2％であった。

　2012年度の貿易赤字は、32億4,810万米ドル、前年に比べ1.7％増加した。

5．政府財政収支

　2012年度の政府の財政赤字は、11億1,140万米ドル､対GDP比6.0％と前年に比べ増加した。2012年度の政府の歳入は30億8,970万米ドル（対GDP比16.8％）、前年度に比べ5.9％の増加に対し、歳出は42億110万米ドル（対GDP比22.8％）、前年度に比べ13.5％増加した。

　2012年度の政府の歳入のうち、税収は26億9,090万米ドル(87.1％)、前年度に比べ2.8％増加した。

　2012年度の政府の歳出のうち、経常支出は33億2,390万米ドル（79.1％）、前年度に比べ10.8％の増加となった。また、経常支出のうち、公務員の給与は17億8,490万米ドル（対経常支出比53.7％、対歳出比42.5％）、前年比に比べ5.0％の増加となった。

6．本国送金

　2012年度の本国送金額は､28億9,390万米ドル、前年度に比べ3.4％増加した。

7．外貨準備高

　2012年12月の外貨準備高は25億7,100万米ドル、前年同時期に比べ2億4,900万米ドル減少した。これは、コーヒーの国際価格の低下及び燃料価格の高騰に因るところが大きい。

8．銀行流動性

　2012年12月期のレンピラによる流動性資金総額は、米ドル換算で22億8,000万米ドル、外貨による流動性資金総額は12億6,000米ドルであった。

9．公的債務（出典：ホンジュラス財務省）

2012年12月末の公的債務総額は、63億9,690万米ドル（対GDP比34.8％）で、内36億6,570万米ドル（対GDP比19.9％）が公的対外債務、27億3,120万米ドル（対GDP比14.9％）が公的対内債務である。

2012年の公的対外債務は、2008年と比べ対GDP比で20％増加、公的対内債務は、2008年と比べ対ＧＤＰ比で約４倍に増加した。この近年の公的債務の構造変化は、世界的な景気後退に加え、ホンジュラスの政治危機（2009年）により、国際機関が資金の支出を拒否したため、国家機関を機能させるため政府による資金調達の必要性が増加したことに因る。

2012年12月末の公的対内債務の内、国債発行によるものが98.8％を占める。国債の償還期間については、償還期間が5年以下のものが全体の93％を占める。利率の種類別構成比については、固定利率が75.4％、変動利率が24.6％である。また、議会が承認した2012年度の国債発行限度額は115.058億レンピーラ、2012年度国債発行総額は127.381億万レンピーラであった。

10．外国直接投資

　　2012年度の外国直接投資総額は10億5,850万米ドル、前年に比べ4.3％増加した。主な投資分野は、運輸・通信分野の2億9,540万米ドル（27.9％）、続いて製造業の2億6,210万米ドル（24.8％）であった。

　　ホンジュラスの地理・歴史・経済的要因より、北米からの直接投資が最も高い割合を占め、2012年度の同地域からの外国投資額は4億9,680万米ドル、外国投資総額の46.9％を占める。

（了）